IMSAP スタジオ

イノベーション・マネジメントシステム・
アクセラレーションプログラム

第14期　2026年 12月開講

国際規格に基づいた イノベーション経営を チームで推進！

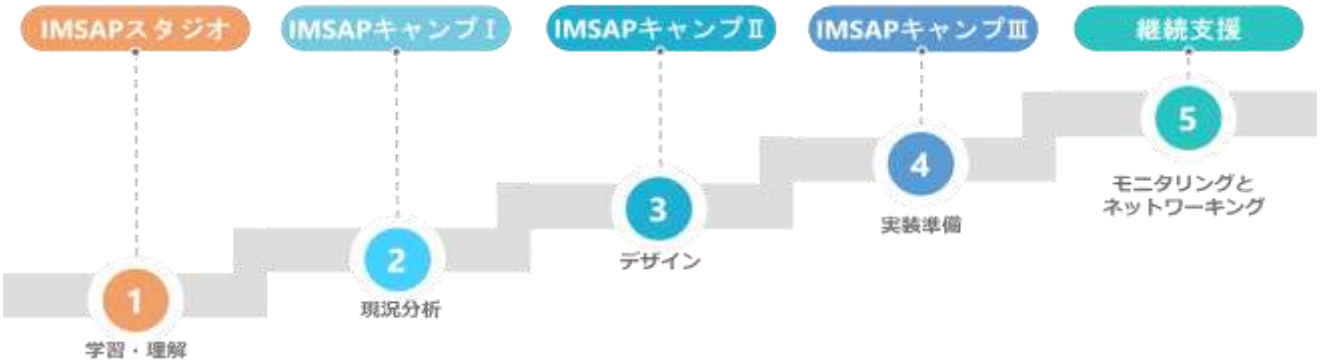
今、イノベーションに必要なのは古いマネジメントシステムの刷新

イノベーション・マネジメントシステム（IMS）とは？

「本業を持つ組織からイノベーションが興しづらい」のは、既存事業の慣習や常識がイノベーション活動を阻害するためであり、世界共通の課題です。こうした背景を受け、組織的かつ継続的にイノベーションを推進する枠組みとして、IMSの国際規格、ISO56002が2019 年に、ISO56001が2024年に誕生しました。

最新のイノベーション経営を学習⇒実践するためのプログラム

IMSを導入し、イノベーションの成果を出すためには、下図の順序で進めることが世界標準となっています。
その手順に合わせて、国際規格作りに関わってきたJINが独自のIMS教育・導入プログラムを提供します。



IMSAPスタジオの提供価値

IMSを推進するには、同じ想いを持つ仲間・チームが必要です。
IMSのあり方をチームで学習・議論することで、IMS導入・実践する力・考え方を習得していただきます。

最先端の知を習得

ISO56000シリーズに基づき、IMSの要素とあり方を体系的に習得する

推進チーム構築

各社から複数名で参加し、IMS導入・実践をリードするチームを形成する

IMS導入準備

担当役員の合意獲得を含む、IMS導入・実践に向けた道筋を立てる

コミュニティ参画

IMSプロフェッショナルの一員として、コミュニティに参加する

本プログラム参加をお勧めする企業

- イノベーションが興せないことが経営課題である
- イノベーションの様々な手法に取り組んだものの、成果が出ず苦慮している
- イノベーションの必要性は理解しているが、何から着手すべきか分からない
- イノベーション推進人材の育成が急務である

過去の参加企業の声

- 「IMS導入、イノベーション創出の第一歩として、とても良い体系だったプログラム」
- 「他社との議論が新鮮、自社に足りない部分が理解でき、IMS導入・改善に多くの気づきを得た」
- 「動画がコンパクトで見やすく、理解の促進に効果的」
- 「異なる業界も同じ悩みを持つことが分かった」
- 「日本におけるIMSの第一人者に直接指導をいただけた」

価格と構成

※内容及びスケジュールは変更となる場合がございます

価格（税別）

３名：１５０万円（1名あたり50万）
４名：１８０万円（1名あたり45万）
５名：２００万円（1名あたり40万）

＊参加者全員に「JISQ56002」と「解説本」を配布

構成

1. 動画・個人学習

- IMSとISO国際規格について、動画12本（各回:10-20分程度）で事前学習
- 都合の良い時間に視聴
- 各回の課題に取り組み、対話セッションに参加

2. 対話セッション

- 全５回の対話セッションに複数企業の参加者が集合
- JIN専門家、他社参加者との対話や議論を通じ、規格の深い理解と自社導入のヒントを得る

3. 自社内議論

- 対話セッションでの学ひをもとに、自社での実践に向けた道筋や現状の課題をチームで議論
- IMS導入に向けて、中核となるコアチームを立ち上げ

スケジュール（全5回）

動画学習	対話セッション	自社内議論
1. IMSの基本 2. ISO56002概要解説 3. IMSの原則 4. IMSコンパス	第1回 2026年12月3日(木) 13:00-17:00 対面 ・なぜイノベーションにマネジメントシステムが必要か ・IMSの全体像を理解する ・ISO56001とISO56002の違い	・なぜ自社にIMSが必要か議論 ・説得すべき役員と巻き込む仲間の候補をリスト化
5. 組織の状況(4章) ▪内部外部の論点・利害関係者のニーズと期待 6. リーダーシップ(5章) ▪コミットメント・ビジョン、戦略、方針 7. 計画(6章) ▪機会とリスク・計画策定・ポートフォリオ	第2回 2026年12月18日(金) 15:00-17:30 ｵﾝﾗｲﾝ ・自社の現状を把握する ・リーダーシップの重要性を理解する ・計画策定の重要性を理解する	・復習テストの実施 ・組織の現状、リーダーシップ、計画策定に関する 課題を議論 ・IMS 導入に向けた道筋を議論
8.9. 支援体制(7章) ▪経営資源の概論と人材・時間と知識 ▪財務とインフラ　・力量 ▪認知度、コミュニケーションと文書化情報 ▪ツール、方法と知財のマネジメント	第3回 2027年1月15日(金) 15:00-17:30 ｵﾝﾗｲﾝ ・支援体制の重要性を理解する ・経営資源の投入のあり方を考える	・復習テストの実施 ・自社の支援体制の課題を議論 ・IMS導入に向けた道筋を議論
10-11. イノベーション活動(8章) ▪活動の計画・機会の特定・コンセプト創造と検証 ▪ソリューションの開発と導入	第4回 2027年2月3日(水) 15:00-17:30 ｵﾝﾗｲﾝ ・イノベーション活動を理解する ・そのプロセスのあり方を考える	・復習テストの実施 ・自社のイノベーション活動のあり方を議論 ・役員・仲間へのアプローチ開始
12. パフォーマンス評価/改善（9/10章） ▪測定/ 分析/ 評価および内部監査 ▪マネジメントレビューと改善	第5回 2027年2月18日(木) 15:00-18:00 対面 ・評価と改善を通じたマネジメントシステムの習熟の重要性を理解する ・各社のIMS 導入に向けた現状を共有し合う	・修了テストの実施 （所定の条件を満たせば、IMS ジュニアプロフェッショナル認定）

スタジオ講師陣

対話セッションには、各回のテーマに沿った講師が登壇し、
それぞれの知識・経験を共有し、IMSの理解を促進します。

仙石 太郎
代表理事

松本 毅
常務理事
IMSエバンジェリスト

真野 毅
理事
ISO国内審議委員

荻原 直紀
IMSAPスタジオリード

尾﨑 弘之
ディレクター
ISO国際交渉担当

お問い合わせ・お申し込みはこちらから

ims@ji-network.org

Japan Innovation Network

一般社団法人Japan Innovation Network
〒105-0004
東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット
内幸町ビル 3階 CROSSCOOP内
TEL: 03-5510-7188 https: //ji-network.org